

平成30年度 民間技術発表会(第2回)を開催しました

平成31年2月1日(金)、東北地方整備局港湾空港部 会議室をメイン会場(聴講者約50名)として、管内港湾空港関係事務所へ映像配信を行い、民間技術発表会(第2回)を開催しました。

民間技術発表会は、平成16年度から民間の方々が開発された新技術等を東北の港湾・空港整備に有効活用することを目的に、職員と民間事業者の方との意見交換の場として開催しています。今回は5つの技術が発表されました。

- | | |
|--|---------------------------|
| 1) Re-Pier 工法 | [あおみ建設株式会社] |
| 2) 遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」 | [株式会社ブイキューブ、りんかい日産建設株式会社] |
| 3) ジオドレーン SPD 工法 | [ジオドレーン協会] |
| 4) 栈橋施工を対象とした CIM の導入 | [五洋建設株式会社] |
| 5) クレーンカメラ映像検知システム | [東洋建設株式会社] |

本発表会を通し、各社の新技術の取り組みを理解することができたとともに、活発な意見交換ができました。今回発表されました技術が、公共工事等において幅広く有効活用されることを期待しております。



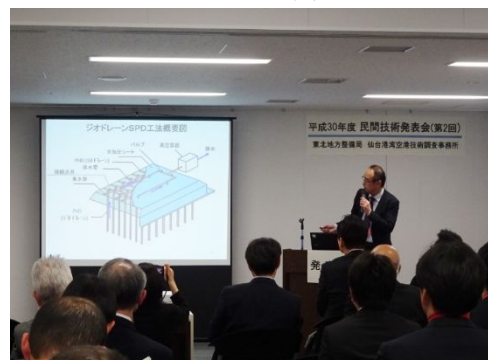
開会挨拶



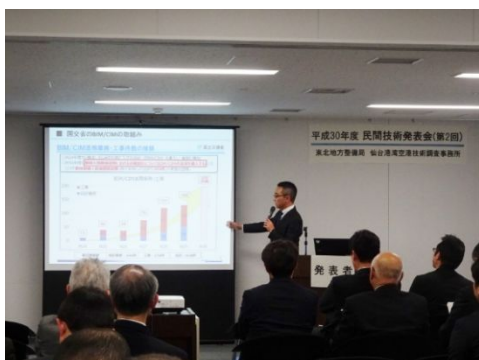
Re-Pier 工法



遠隔現場支援システム



ジオドレーン SPD 工法



栈橋施工を対象とした CIM の導入



クレーンカメラ映像検知システム

H30年度 第2回民間技術発表会(PAT) 発表技術一覧

	発表議題	発表企業名	技術概要
①	Re-Pier工法	あおみ建設株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・既設栈橋の耐震補強や延命化、増深化を目的に、鋼管杭を補強部材で連結して栈橋全体を補強する工法。 ・従来のストラット部材に替えて、施工時に部材長調整ができる伸縮ストラット部材を使用し、専用フローターで栈橋下の空間部に移動させることで、潜水士を用いる水中作業を高率化。
②	遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」	株式会社ブイキューブ、りんかい日産建設株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」は、現場と現場事務所とが遠隔となる港湾工事等の施工において、ICTを活用し、映像、音声と電子データをもとに、現場と事務所双方でリアルタイムに情報を共有し、現場管理等の高率化を実現する現場支援システム。
③	ジオドレーンSPD工法	ジオドレーン協会	<ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤の圧密促進を目的とした真空圧密工法として、載荷盛土の省力化による全体工期の短縮を実現。 ・本工法では、配管や端部処理の工夫により、圧カスを低減した高真空化が図れるため、作業制約のある狭隘な現場でも適用可。 ・また、環境配慮型の材料を用いることが可能で、盛土不要と併せて環境に優しい工法。
④	栈橋施工を対象としたCIMの導入	五洋建設株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾整備における建設プロセス全体の生産性向上を図るため、相馬港のLNG基地建設工事(発注者:石油資源開発株式会社)での本格的なCIMによる設計・施工管理を実施。 ・上記事例に基づき、施工業者の立場から、港湾工事におけるCIMの取り組み、課題等について紹介。
⑤	クレーンカメラ映像検知システム	東洋建設株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾工事におけるクレーン作業での作業者との接触事故等を予防するため、クレーンの吊り荷付近で作業する作業員をクレーンカメラの映像と色情報から検出し、クレーン操縦者に吊り荷と作業員の接近を通知する廉価な市販カメラを活用した映像検知システムを開発。 ・また、作業員にも警報端末を携帯させることで、吊り荷が近づいていることを通知することも可能であり、高い安全性を具備。 ・現在、AI技術も取り入れた色情報に変わる手法を開発中。

(発表順)